

平成二十三年六月二十八日発行

# 躍進

## 宗会活動報告

第三十九区宗会議員 内山智洋

### 東日本大震災 対策に関する 議員懇談会報告

去る五月十八日、東日本大震災に関する宗門の対応についての議員懇談会が開催されましたので、概要を報告します。

#### 【災害対策本部活動報告】

●三月十一日午後二時四十六分発生  
の東日本大震災による被害が広域  
かつ大規模であることから、宗務  
総長は三月十二日、本災害を「大  
規模災害救援対策規程」に基づき  
「大規模災害」に指定し、直ちに宗  
務総長を本部長、総務局長を副本  
部長とする「災害対策本部」を設  
置した。以降、被害情報の収集と  
被災地域の安否確認を行うととも

に、随時情報を日蓮宗ポータルサ  
イトに掲載し、情報提供を行った。

●三月十四日から「義援金勸募」を  
開始。三月十七日には緊急援助と  
して日本赤十字に一千万円を寄託  
した。

●三月二十三日、福島、宮城、岩手  
の三県宗務所に対して、各々見舞  
金百万円、運営資金五百万円（計  
千八百万円）を提出。

●三月二十五日、千葉県東部、群馬、  
茨城、栃木の各宗務所に見舞金計  
二百万円を提出。

●四月二十六日、「東日本大震災対策  
会議」設置を決定、五月九日第一  
回会議開催、義援金配分等につい  
て検討、五月十二日本部会議で決  
定。決定額は、全壊（原発事故に  
よる立ち入り禁止区域を含む）寺  
院一千万円、教会八百万円、結社  
五百万円、避難所となっている本  
宗寺院には各三百万円。

●義援金は、六月二十日現在八百三  
十五件、二億五千八百七十八万九  
千十六円となっており、すでに提  
出した八千百万を足すと、三億三  
千九百七十八万九千六百円となり  
ます。

#### 【意見交換】

災害対策本部からの概要現状報告  
を受け、次のような意見が出された。

①被災地寺院の**宗費減免**は、檀信徒  
の被害甚大な現状を踏まえて、単  
年度で終わるものではなく長期に  
わたって認めるべきである。

②本年度の財政調査による**等級決定**  
に際しては、本来過去三年間の実  
績を反映すべきものではあるが、  
今年度に関しては、大震災という  
事情を勘案して温情ある対応をす  
べきである。

③「**布教拠点確保援助規程**」の上限  
額や金融機関の限定を緩めて利便  
性を高め、被災地寺院の活用にと  
するべく、制度研究委員会で早速  
に検討すべきである。

④**義援金勸募**に関しては、地域によ  
って温度差があり、総長自ら各地  
方に向いて協力を呼びかけ、時  
間の経過と共に低下する可能性の  
ある勸募意欲を、時に応じて喚起

すべきである。

⑤本年度の宗門の経常部会計予算は、  
大震災発生以前に決定されたもの  
であり、今後宗費減免等によって  
歳入欠陥が生じ、歳出の見直し  
が必用であるから、宗門運営に遅滞  
を生じないように、早期に**予算の更  
正、補正**を行うべきである。

⑥大震災関連の宗門予算は、「災害救  
援基金」（約五億円余）、「義援金」  
（五億円目標）、「経常部会計」、「国  
際協力基金」等、計十億円余の財  
源が充てられることになるが、「災  
害救援計画」を立て、それに基づ  
いて短期、中期、長期の計画的支  
出を行うべきである。そのため  
は**計画の透明性、組織の統一性、  
資金支出の公平・透明性**が図られ  
るべきである。

⑦**復興支援にかかわる組織**である  
「災害対策本部」「東日本大震災対  
策会議」「福祉共済対策委員会」等  
の役割分担を明確にし、足並みが  
乱れないようにすべきである。

⑧**宗門運動**の活動項目を新たに「災  
害復興支援活動」が加えられたが、  
信仰運動としての宗門運動の中で  
どのような形で復興支援に取り組  
むべきか、「宗門運動本部企画推進  
会議」等で十分に検討して進める  
べきである。



平成6年4月21日  
第6、7日忌  
石巻土葬墓地に於て



宮城県松島町付近を行脚する  
内山住職（3月16日）

⑨ **大震災の教学的な意味**を追求し、根本的な苦難解決の道を示すことが求められている。宗門の叡知を集めて取り組むことを提言する。

⑩ 被災地の教師や沙弥、寺院に対する沙弥校、僧道林、試験検定、修行道場、あるいは各種研修会、講習会等の**教育機会への配慮**、すなわち礼録の減免、交通費補助、参加費免除等の配慮が求められる。

概略以上の意見が出されたが、宗務総長初め内局は、これらの要望・意見を踏まえて今後大震災対策を怠りなく、過ちなく進めていくことを期待したい。

2011年6月28日

## 東日本大震災における日蓮宗内全壊寺院

(原発事故による立ち入り禁止区域を含む)

管区	寺院名	住職名	郵便番号	住 所
福島	妙勝寺	瀬戸 年雄	979-1472	福島県双葉郡双葉町新山字下条39
	妙栄寺	武田 寿法	979-1161	福島県双葉郡富岡町夜の森北1-42-1
宮城	妙勝寺	佐藤 徳明	989-6143	宮城県大崎市古川中里2-2-1
	観音教会	今泉 寛龍	989-2423	宮城県岩沼市押分字須加原63-6
	立正結社	加藤 鍊栄	985-0811	宮城県宮城郡七ヶ浜町葛蒲田浜字諏訪前9-1
岩手	蓮乗寺	木藤 養顕	028-1117	岩手県上閉伊郡大槌町末広町7-14
	妙恩寺	風間 文静	029-2204	岩手県陸前高田市気仙町砂盛76
栃木	妙顕寺	芝沼 顕修	329-1212	栃木県塩谷郡高根沢町上柏崎11

## 避難所となっている日蓮宗寺院

管区	寺院名	住職名	郵便番号	住 所	避難者数
福島	妙宝寺	新妻 教誠	979-0153	福島県いわき市川部町大沢57	40～50人
	佛立寺	鈴木 本学	976-0042	福島県相馬市中村字多川町91	数十人
宮城	法音寺	谷川 正明	986-2135	宮城県石巻市渡波字神明35	約100人
岩手	仙寿院	芝崎 惠應	026-0022	岩手県釜石市大只越町2-9-1	約700人
	善慶寺	三浦 惠伸	028-1331	岩手県下閉伊郡山田町北浜町4-1	77人
	瑞然寺	佐々木瑞英	028-1371	岩手県下閉伊郡山田町船越15地割3-242	20～30人
	本増寺	木村 勝行	022-0002	岩手県大船渡市大船渡町字猪頭42	不明

※避難者数に関しては震災当初の人数です。